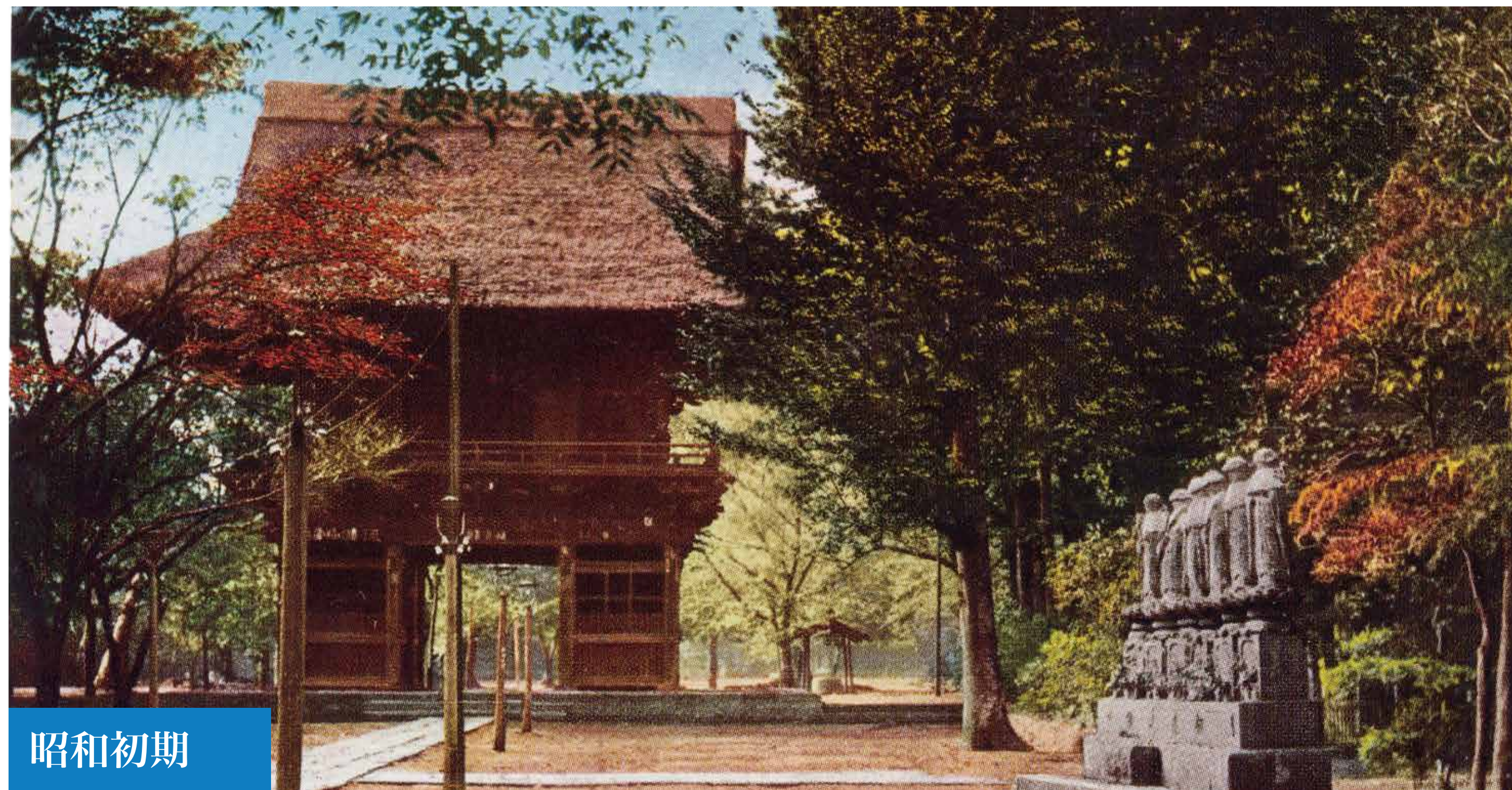


このまちの100年

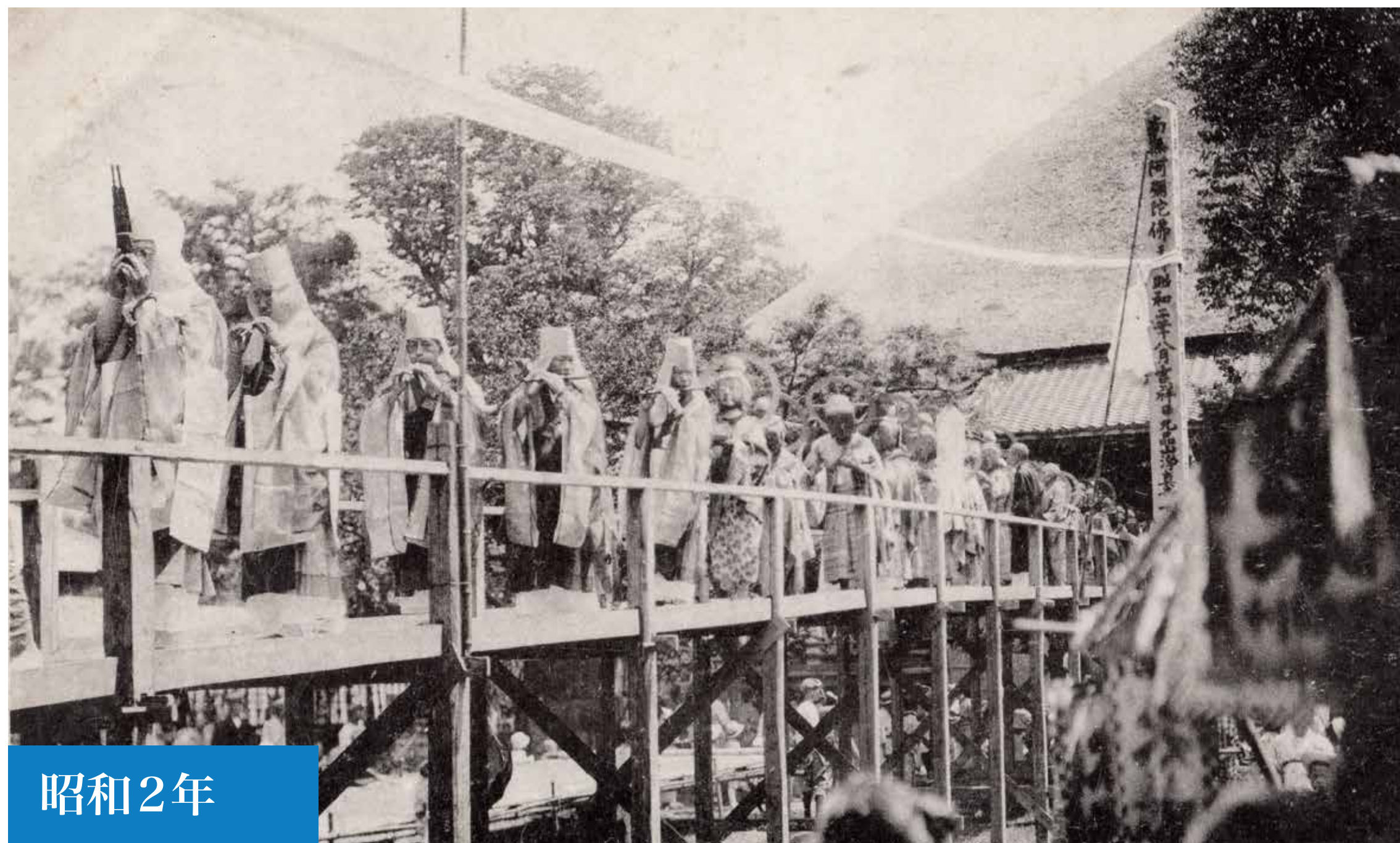
「自由が丘」

自由主義教育を実践するための学園設立と、駅の開業から発展した自由が丘。戦前期より多くの文化人が暮らし、また商業地としてもにぎわうようになったことが、現在の自由が丘の街の下地となっています。



昭和初期

九品山浄真寺。中世に奥沢城があった場所を江戸期に地元の名主が譲り受け、延宝6年に開山



昭和2年

九品山浄真寺にて、江戸前期の元禄以来、3年毎に行われてきた二十五菩薩来迎会



昭和初期

洗足駅前に移転した、田園都市株式会社の本社。田園都市株式会社は、現在の東急のルーツとなる企業の一つ



昭和36年

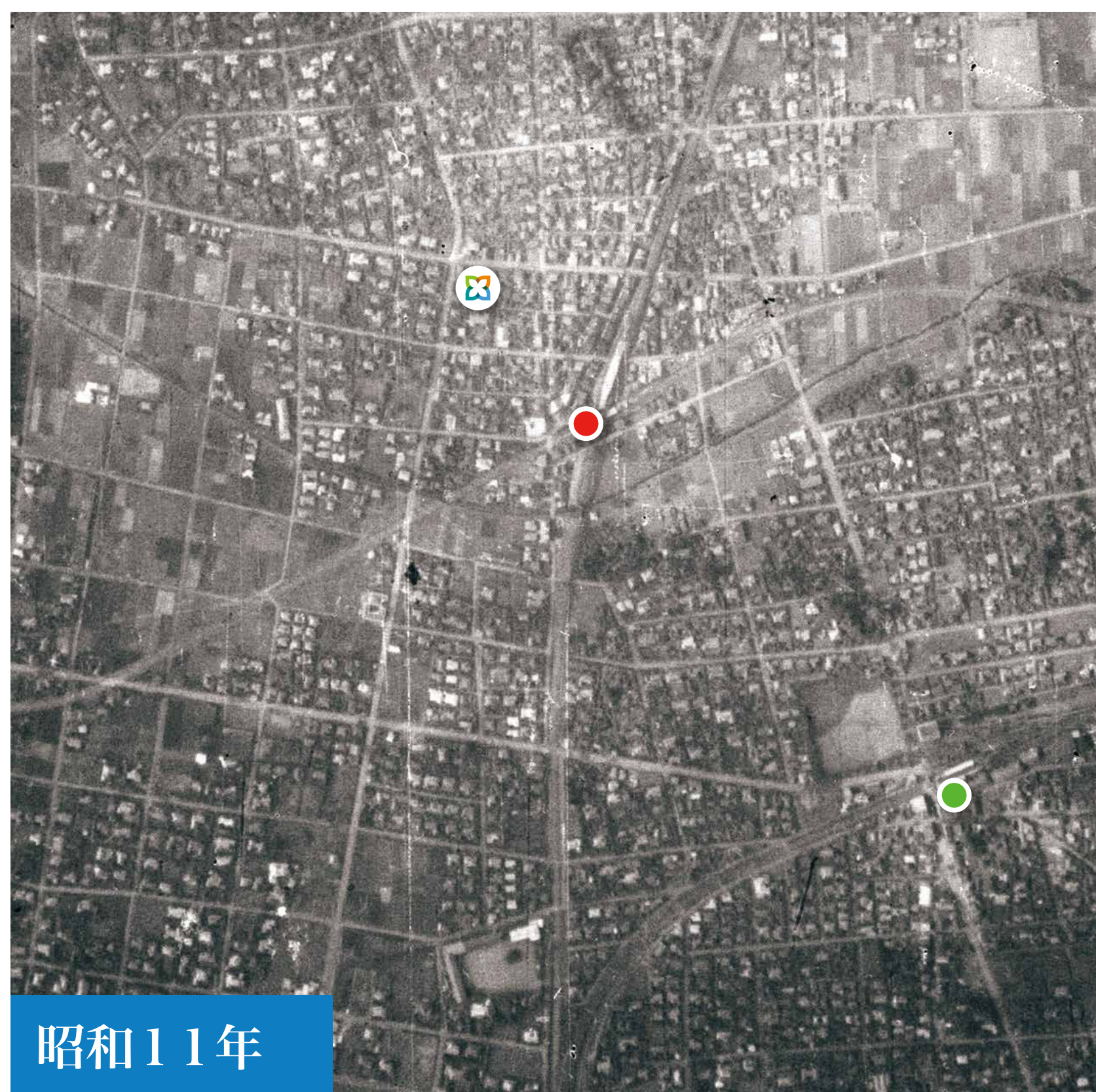
自由ヶ丘東急ビル。洋品店などの商店や高級中華料理店の東光菜館などが入った



平成22年

九品仏川の暗渠化により、九品仏川緑道が整備された

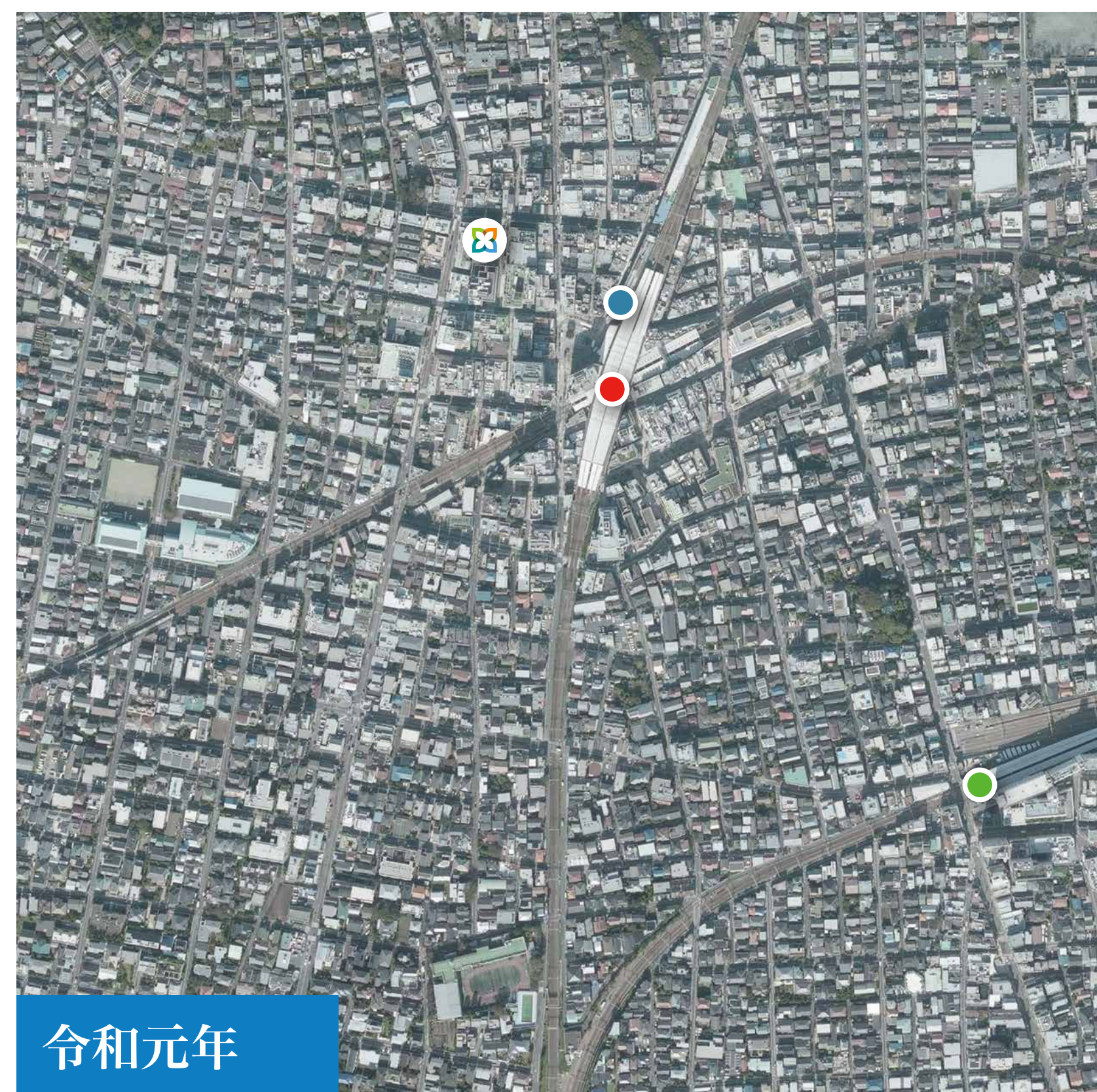
上空からみた自由が丘エリア



昭和11年



昭和50年



令和元年

現在地
自由が丘デパート 奥沢駅 自由ヶ丘駅／自由が丘

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ